TRUE TOUCH TRAINING KIT
取扱説明書

■ご使用になる前に、必ず本説明書をお読みください。

この度は、TAMA トレーニングキットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。製品の機能を十分に発揮して安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本説明書をお読みください。また、本書は大切に保管してください。

■梱包明細

品番	品名	TTK2S	TTK4S	TTK5S
		2 点セット	4 点セット	5 点セット
TTBD6	バスドラムパッド	○	○	○
TTSD10	スネアドラムパッド	○	○	○
TTHT8	タムパッド（8 インチ）w/ クランプ		○	○
TTLT9	タムパッド（9 インチ）w/ クランプ			○
TTFT9	フロアタムパッド（9 インチ）w/ クランプ , アーム , L ロッド		○	○
TTKTS	タムパッドスタンド		○	○

注意 : このセットにスネアドラムパッド用のスタンドは含まれません。別途スネアスタンドをお買い求めいただくかお手持ちのスネアスタンドをご使用ください。

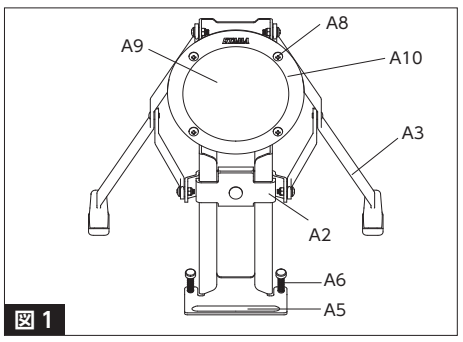

図 1

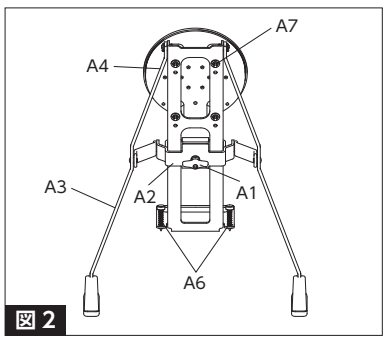

図 2

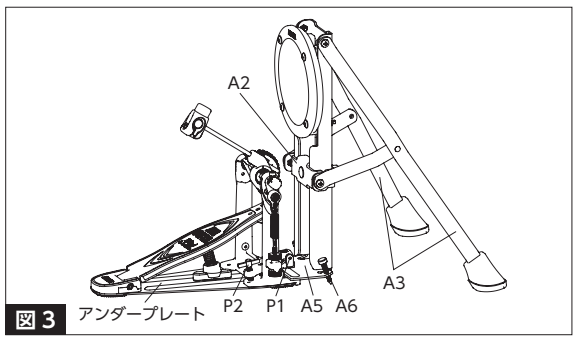

図 3

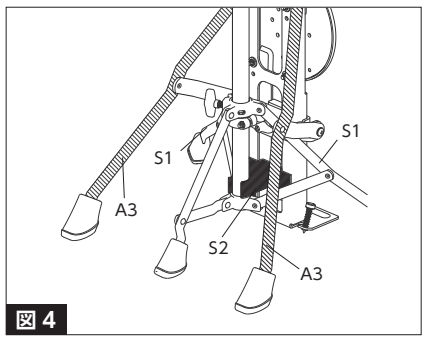

図 4

■バスドラムパッド（TTBD6）

セッティング方法

- T- ナット (A1) を緩めてスライダー (A2) を上に引き上げると脚部が開きます (図1, 2)
- T- ナットが緩んだ状態のまま、パッド本体がおおよそ垂直に立つ状態で床に置きます。
- 図3のように、バスドラムペダルのフープクランプ (P1) でクランププレート (A5) を挟み、フープクランプの T ボルト (P2) を締め付けます。
- ドラムペダルが安定して接地するようにスライダーを上下して脚の開き具合を調整し、T ナット (A1) を締め付けます。
- 必要に応じてスパイク (A6) を使用してください。時計回りに回すにつれてクランププレートから剣先が出ます。スパイクを出してペダルやパッド本体が不安定になった時は、脚の開き具合を再度調整してください。

> ⚠ **注意 :** スパイクを使用される際は、床面を傷つけないようにバスドラムパッドの下にマット等を敷いてください。
> マットを敷いていても演奏によってスパイクがマットを突き抜ける事がありますので、ご注意ください。

- タムスタンド (TTKTS) をセットする時は、図4で示したようにバスドラムパッド (TTBD6) の二本の脚 (A3) が、スタンドの二本の長い脚 (S1) を跨ぐようにバスドラムパッドをセットします。スタンドの脚がバスドラムパッドと接触してノイズが出ないようにスペーサー (S2) の凸部をバスドラムパッドの裏側の穴に入れるようにして、パッドとスペーサーを密着させてください。

■バスドラムパッド（TTBD6）

パッド部の高さ調整

- ペダルのフレーム高さが低く (例 : TAMA HP50)、バスドラムパッドの打面の中心付近にビーターを当てられない場合は、パッド部の高さを20mm 下げる事が出来ます。4本の角頭ボルト (A7) をチューニングキーで外すとパッド部 (A4) を取り外す事が出来ます。(図2)
  パッド部裏側のネジ穴を支柱の下の方の4つの穴に合せ、角頭ボルトを締めて固定します。角頭ボルトは4本全てを指で仮締めし、均等に少しずつ締め込んでください。

打面カバーの交換（品番 :TTBC6）

- バスドラムパッド打面のカバー (A9) が消耗した際には、カバーのみを交換する事が出来ます。
  バスドラムパッドの脚部を畳んで、寝かせた状態で4本のプラスネジ (A8) をドライバーで緩め、フープ (A10) とカバーを取り外してください。新しいカバーをラバーパッドに被せ、再びフープを取り付けてプラスネジを締め直してください。

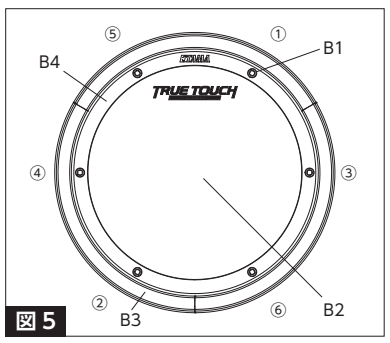

図 5

■スネアドラムパッド（TTSD10）

テンションの調整

- 角頭ボルト (B1) をチューニングキーで締めたり緩めたりすることで、スティックで叩いた時の打感を調整する事が出来ます。角頭ボルトを締めたり緩めたりする時には、図5に番号を示したように対角線の順で少しずつ均等に調整してください。

リムショット

- ゴム製のリム (B3) を活用して、アコースティックドラムと同様にオープンリムショットやクローズドリムショットの練習をする事が出来ます。

メッシュヘッドの交換（品番 : TTMH10）

- スネアドラムパッドの6本の角頭ボルト (B1) を緩め、金属製のフープ (B4) とヘッドを取り外してください。
  新しいヘッドをスポンジフォームの上に載せ、再びフープを取り付けて角頭ボルトを締め直してください。メッシュヘッドを張る時には、図5で示したように角頭ボルトを対角線の順に少しずつ締めてください。

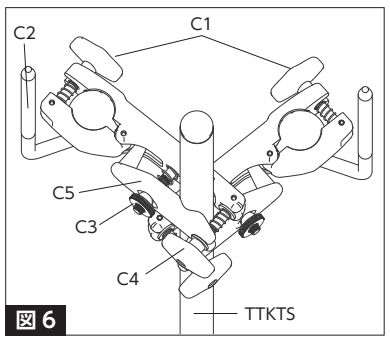

図 6

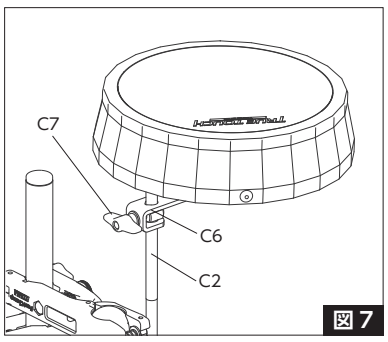

図 7

■タムパッド (TTHT8, TTLT9) のセッティング

- タムパッドに付属のクランプを使って、専用スタンド (TTKTS) にセットします。
- スタンドにクランプを取り付ける際には、丸ナット (C3) と T ナット (C4) の締め具合をパイプ径に合せて調節し、クランプ本体とカバー (C5) が平行になるように締め付けてください (図6)。
- タムパッドを取り付ける位置に応じて、ボールロッド (C2) の向きを変える事が出来ます。T ナット (C1) を緩め、ヒンジ部を開いてボールロッドを取り外してお好みの向きに組み直してください。タムパッドをスタンドにセットする時には、図6のように T ナット (C1) がボールロッド (C2) の反対側になるように組み付けてください。
- ボールロッドをタムパッド裏側のパッドホルダー (C6) に通し、T ナット (C7) を締めて取り付けます。その際、ボールロッドの先端が、タムパッドの裏面に接触しないように注意してください。
- クランプの T ナット (C1) を緩め、タムパッドをお好みの位置に調整します。お好みの位置にセットしたら、T ナット (C1) を締めて、固定してください。

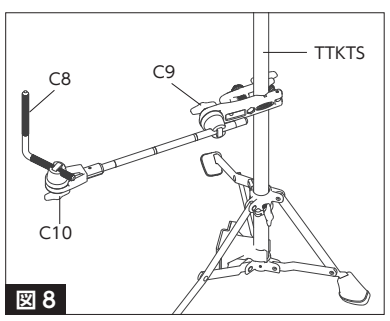

図 8

■フロアタムパッド (TTFT9) のセッティング (図8)

- フロアタムパッドに付属のクランプを専用スタンド (TTKTS) に取り付けます。タムパッドと同様にクランプ本体とカバーが平行にパイプを締め付けるように注意してください。
- アーム、L ロッド (C8) をクランプに取り付けます。タムパッドと同様に L ロッドにパッドホルダーを取り付けてください。
- T ナット (C9, C10) を緩め、アームと L ロッドの長さや角度を変えてフロアタムパッドの位置を調整します。
  お好みの位置にセットしたら、T ナット (C9, C10) を締めて固定します。

TAMA® HOSHINO GAKKI CO., LTD.
星野楽器株式会社　〒461-8717 愛知県名古屋市東区橦木町 3-22
http://www.tama.com/

この取り扱い説明書は2021年7月現在の物です。製品改良のため予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

TSTTT21G